

共生・公正・創造



ユニオン・EYE

<http://www1a.biglobe.ne.jp/jrtu-EWU>

ジェイアール東日本労働組合
〒108-0014 東京都港区芝5丁目33番36号
TEL(NTT)03-3453-2107 (JR)057-2290
発行者/今井 伸 編集者/平 憲治

“テロリストに乗っ取られたJR東日本の真実”

『週刊現代 - JR東日本革マル浸透問題告発 - 』 連載第21回

週刊現代を濫訴するJR総連は、異常なカルト集団！

『週刊現代』が、JR東日本の革マル浸透問題を連載記事で告発した。本紙は驚くべきこの事実をシリーズで紹介する。（JR連合民主化闘争情報号外より一部抜粋）

< 週刊現代2006年12月11日発売号 >

JR総連組合員が競って提訴、その数30件20裁判所、いずれも松崎教信者

この連載開始以来、... JR総連は組織として訴訟を乱発。裁判制度を悪用し、自らに都合の悪い私の連載に圧力をかけようとしているのだ。...これほどあからさまな言論弾圧を行って、恥じる事のない団体を、私は知らない。...今回のJR総連組合員による訴訟乱発を、同元幹部はこう分析する。

「彼らの大部分が『Lメンバー』や『Aメンバー』といわれる、松崎（JR東労組元会長）を頂点とする『JR革マル派』の秘密組織の人間です。『Lメンバー』の『L』とは革マル派の機関誌『解放』の頭文字で、『革命』を意識的に考える学習会『L会議』の参加者。この『L会議』を指導するのが革マル派シンパの『Aメンバー』です。そして彼らはJR総連というより、むしろ『JR労研』の指令に基づいて行動しているといったほうが正確でしょう。『JR労研』はJR東労組、JR総連傘下单組を実質的に支配している裏組織。上部から『中央労研』、『地方労研』、『支部労研』と縦組織になっており、中央会費、地方会費、分会会費などが定期的に集められ、革マル派に上納されるのです。いずれにせよ全員が“松崎教信者”です。松崎に対する忠誠心を競い合うため、われ先にと手を挙げる。自分の行動がいかにか社会常識から逸脱しているか、気づいていないのです」

「テロリストに乗っ取られたJR東日本の真実 JR総連組合員の本誌濫訴は司法を悪用した言論封殺テロだ」と題するこの記事は、「JR東日本革マル派問題」の追及を封じ込めることを目的に、訴訟を乱発するJR総連のカルト的体質を暴いている。カルト対策先進国フランスでは、カルト団体と認定する構成要件として「裁判沙汰の多さ」を挙げている。現在、JR総連組合員が「週刊現代」の追及に対抗するため、続々と訴訟を起こしている。まさに語るに落ちる。彼等は、訴訟を連発することによって、自らの異常性を証明しているのだ。まさに、「オウム真理教」以上のカルト集団だ。

< 12/7現在の提訴一覧 > 8/29 JR総連と東労組と大宮地本副委員長、9/28東労組中執・JR総連執行委員、10/3大宮地本委員長、10/19松崎明、10/30宇都宮支部委員長、10/31横浜地本委員長・八王子地本書記長・小田原支部委員長、11/1水戸地本副委員長・千葉地本委員長・甲府支部委員長、11/2秋田地本書記長・高崎地本委員長・高崎地本書記長・JR東海労副委員長・JR東海労名古屋地本委員長、11/6仙田地本組織部長・蒲田車掌区分会書記長・JR東海労中執、11/7仙田地本委員長・池袋運転区分会書記長・蒲田電車区運転士、11/13 JR北海道労組書記長・札幌地本書記長、11/17 JR西労委員長・岡山地本委員長、11/20 関西地域本部委員長、11/21 中国地域本部副委員長、11/22 JR貨物労組九州地本副委員長